



増大する老朽化インフラの延命化のため、安全性の向上と効率的な維持管理が求められており、適切に点検し、メンテナンスコストの最小化に貢献する取り組み及び水質などに関する調査・試験を行っています。

橋梁点検調査

四国地方整備局の直轄国道には、2,674橋（平成29年3月末時点）の橋梁があり、橋梁の損傷及び変状を早期に発見し、安全・円滑な交通を確保するため、橋梁に関わる維持管理に必要な基礎資料を得るため定期点検を実施しています。



橋梁点検車による点検状況



検査路からの点検状況



近接目視による点検状況



ボートによる点検状況



軌陸車による点検状況



現地での点検セミナーの状況

撤去橋梁部材の展示

平成29年3月、大洲河川国道事務所で開催している肱川橋（昭和36年竣工）の架替えにともない、不用となった上部工の一部を譲り受け、事務所構内へ移設を行いました。橋梁が実際に受けた損傷・劣化を確認することができる場として、技術者の研修等に活用します。



撤去橋梁部材の展示状況



路面下空洞調査

道路陥没は、路面下が空洞化することにより発生するいわば「道路の病気」の一種です。路面下の空洞は、埋設物や護岸の損壊箇所などへの土砂の流出や埋戻土の沈下などにより発生します。

道路陥没が発生した場合、道路利用者や沿道住民の活動に大きな影響を及ぼすことになります。

道路陥没を未然に防止するには、路面下の空洞を効率的に探し出し、確実に対応することが重要となることから、「路面下空洞調査」を四国地方整備局管内の直轄国道で実施しています。

空洞発見から補修までの流れ



路面性状調査

四国地方整備局が管理する国道の基礎資料として、路面性状(わだち掘れ量、ひび割れ率、IRI)を専門の車で調査しています。

調査結果に基づき、各事務所で修繕の必要性、優先的に修繕する箇所を決定し、路面を補修しています。



水質監視

河川やダムなどの公共用水域の良好な水環境を守るため、四国地方整備局管内の河川やダムの定期的な水質試験に関する精度管理を実施するとともに、ダイオキシン類や環境ホルモン等についても調査や精度管理を行っています。

